

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	9/20/2019
所属学部・ 研究科・学府	融合理工学府創造理工
所属学科・専攻	デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	University of Cincinnati /KISD										
留学先所属学部等	Industrial design /Integrated design										
留学期間	出発日	2018/8/17	入学日	2018/8/22	修了日	2019/8/22	帰国日	2019/8/18			
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他()						
	通学時間	徒歩25分/電車で30分					On campus				
	通学方法										
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/>	個室	()	人部屋	その他()					
	共有スペース	<input type="checkbox"/>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング
食事	自炊	%	学食	%	外食	<input checked="" type="checkbox"/>	%	その他	()		
保険	海外旅行保険(名称)	ジェイアイ海外保険/ステップイン									
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入			
	その他										
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)										
	成田 ⇄	ダラス	⇄	シンシナティ							
	フランクフルト ⇄	ロンドン	⇄	成田							

2. 留学にかかった費用について

総費用	2,000,000 円						
出どころ							
自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	500,000 円	アルバイト	円	その他	円
援助	<input type="checkbox"/>	両親	円	家族・親戚	500,000 円	その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/>	JASSO	円	<input checked="" type="checkbox"/>	その他名称(トビタテ)	1,000,000 円	
その他	<input type="checkbox"/>	千葉大学助成金	円	その他()		円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	50,000 円	その他()	円
留学中	<input checked="" type="checkbox"/>	海外送金	<input checked="" type="checkbox"/>	キャッシング	その他()

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	ドイツ 3万 アメリカ 6万
住居にかかった費用	月額ドイツ 6万 アメリカ 7万
その他	渡航準備20万 保険25万 航空券30万

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			30万	円
海外旅行保険			25万	円
OSSMA				円
査証・在留許可証			3万	円
住居			80万	円
食費				円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費			1万	円
その他大学に支払った経費			ドイツ 3万 アメリカ 6万	円
光熱費				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無	
			<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
1 Future of work (KISD)	正規		<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
2 Short term project (KISD)	正規		<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3 AG (KISD)	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4 Technical seminar (KISD)	正規		<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

5	Packet design(University of Cincinnati)	正規			有	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
6	infomation design(University of Cincinnati)	正規			有	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
7	Oral Englishn(University of Cincinnati)	正規			有	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
8					有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
9					有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無
10					有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

<p>アメリカ オンラインで探して登録する。大学独自のシステムからはいる。 Canopyという名前</p> <p>ドイツ 交換留学生は廊下に張り出されている科目の中から英語科目を選択して紙に書き、アドバイザーに提出</p>

3-2. 授業内容、方法に関して

<p>アメリカ 先生が講義をし、そのあとグループワークで実践という形をとっていた。適宜先生にフィードバックをもらいながらすすめる。基本的には全てオンラインですすめ、レポートなどもネットに投稿して完了。</p> <p>ドイツ 先生はいるときといないときがあり。TAがすすめる場合も多い。成果物と過程を評価される。セメスターの最後に先生にサインをもらいにいき、そのときにグレードも手書きでもらう。基本的に紙で提出や口頭で意見を述べる事が多く。アナログな印象を受けた。</p>

3-3. 語学力について

<p>アメリカ ネイティブなので最初の方はリスニングについていくのに苦労した。徐々に慣れていった。 ネイティブは学校で習うのとまったく違う英語の使いかたをするので大変だった。</p> <p>ドイツ 留学生が多いため、大変英語が聞き取りやすくリスニングでは苦労することは少なかった。</p>
--

3-4. 図書館など学内施設について

<p>アメリカ 大変広大な敷地があり、図書館、シアター、スタジアム、ジムなんでもある。</p> <p>ドイツ 小さい大学のため設備は工房くらいしかない。セラミック、粘土、木、金属の工房がある。3Dprinterなども完備してある。</p>

3-5. その他

--

4. 生活面

4-1. 住居について

アメリカ

600ドルくらいの一軒家に女子4人でシェアハウスしていました。
個室あり バス、キッチン共有

ドイツ

520ドルのアパートに二人暮らししていました。
個室あり バス、キッチン共有

4-2. 食生活について

アメリカ

UberEatsと自炊が多かったです。アジアマーケットは車でたまに行き買い出ししてました。

ドイツ

コンビニがあったので、基本的にはパンを買って食べたり、ケバブを食べてました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

アメリカ

現地SIM購入 インターネットは早いです。

ドイツ

現地SIM購入 インターネットは遅いです。地下鉄だと圏外になります。

4-4. 服装について

アメリカ

上下ともスポーツウェアを着ておけば間違いありません。オハイオは寒いので厚手のダウンが必要です。

ドイツ

ジーパンとTシャツを着ておけば大丈夫です。

4-5. 健康管理について

アメリカ

一回だけ病院にかかりましたが、体重を測っただけで2万5千円しました。

ドイツ

病院に行くとお茶を飲むのを勧められるそうです。あんまりあてにしません。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

アメリカ
一度病院にかかったときに使いました。学校の保険は高かったです。

ドイツ
ドイツ政府認可の保険に入る必要あり

4-7. 課外活動について

アメリカ
Japanese Social Circleに入り、週1で日本の文化を紹介するイベントに参加した。

ドイツ
各国の文化を紹介する団体に入り、イベントの企画から準備、当日のMCまでを行なった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし

4-9. 日本から持参してよかったもの

アメリカ
カイロ、めんぼう、クレジットカード

ドイツ
クレジットカード

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

アメリカ 現金

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

アメリカ 男女問わず優しい

ドイツ 男女問わず優しい、気が強い

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

アメリカ 旅行

ドイツ 旅行

その他 *気分転換やストレス発散法など。

アメリカ 友達と遊ぶ。

ドイツ カフェに行く。だいたい休日はwifi完備のカフェにいました。

5. その他

5-1. 留学先大学について

アメリカ

広大な敷地にシアターやスタジアムがあり移動が大変です。まわりには飲食店があり食べる場所には困りません。

授業の質はとても高いです。

ドイツ

KISDはデザイン学部は独立した建物にあります。庭でみんなコーヒーを飲みながら談笑する感じでした。雰囲気はゆるいですが、大学院の授業は大変でした。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

アメリカ

ネイティブの発音はかなり早いのでリスニングを鍛えていった方がいいです。みなさんと優しく助けてくれますが、お金やルールには厳しいです。交渉次第でなんとでもなることが多いです。

ドイツ

ドイツの移民局の手続きが煩雑で疲弊しますが、めげずに交渉して頑張ってください。

5-3. 留学を終えて

留学を終え確実に自分の中で自信がついたのはサバイバル力と自信です。二つの国に生き感じたのは、地球上であればだいたいどこでも生きていけるなということです。生きるために必要なのは人に頼ることです。語学も文化も違う海外に行けば赤ちゃんになったのも同然です。人の助けなしでは生きていけません。感謝を忘れずに人をお願いをする傲慢さと謙虚さを持ち合わせることで人の助けを借りることで生きてこれました。

そして、もう一つ大切なことは自信です。日本では謙虚で下からの姿勢こそ評価されますが、海外では対等な立場に立ち意見を言うことが評価されました。自分の意見をしっかり持ち、いつも笑顔でいることで周囲にも信頼されると思います。これらの経験を踏まえて日本では自分が助けてもらった分助け返していきたいです。